

## 令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	追分宿における「アーティスト・イン・レジデンス3」
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人油やプロジェクト
事業区分	(3) 教育及び文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,629,596 円 (うち支援金: 2,722,000 円)

### 事業内容

- 「アーティスト・イン・レジデンス (AIR) 3」  
アート作家を軽井沢町追分地区に招聘し、信州の文化と歴史を題材とした作品制作を行ってもらう。
- AIR 資料室の開設  
創作の基礎資料を整備し、同時に作家や地域住民の交流の場として資料室を開設する。
- ワークショップの開催  
作品制作と関連したワークショップを開催
- 広報誌の発行  
AIR 事業のPRと作品の紹介、作品のテーマ・題材となる地域の文化、歴史などの紹介を行う。

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- AIR で創作した版画作品や絵画を「油や」館内に展示、地域住民、別荘住民など多数来場があり、地域の賑わいに貢献できた。
- AIR 資料室に地域の歴史・自然等の特徴を知る書籍を整備し地域の魅力をPRする場が整備できた。
- 合計4回のワークショップ (WS) を開催、多くの住民参加者があって作家との交流活動ができた。
- 広報誌を手から手へ渡すことにより、AIR 事業のPRを行い、また作品の題材となる地域の歴史・自然・文化などの紹介を効果的に実行できた。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

AIR 事業を3年継続して実施することで創作活動をしたいという人たちが「油や」に来て作品制作をするという事業の立ち上げ出来た。歴史遺産である旧旅館建物を有効活用する手段として、そして信州に来て創作活動を行うという働き方の提案として「アーティスト・イン・レジデンス」事業の活動範囲を広げ、来年以降もNPOが自力で事業を継続し発展・定着させる方針。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

### (活動写真)



【作品制作とワークショップ風景】

### 【目標・ねらい】

- ① 地域の歴史的建物を有効活用
- ② 地域の魅力をアートで情報発信
- ③ 賑わいの創出
- ④ AIR という働き方の提案

### ※自己評価【 A 】

【理由】 計画した事業内容を質の高い内容で実行、制作したアート作品・広報誌の評判も良く、事業を継続していく基盤を積み上げることが出来たと考えます。